



お 知 ら せ

平成29年1月13日
中国地方整備局
第六管区海上保安本部

同時資料提出先

広島県政記者クラブ・合同庁舎記者クラブ・中国地方建設記者クラブ
山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町クラブ

広島湾再生行動計画（第二期）の パブリックコメントの募集【記者レク】

広島湾再生行動計画（第二期）（案）を作成しましたので、皆様に広くご意見をいただき、パブリックコメントの募集を開始します。

記者レクのお知らせ

広島湾再生行動計画（第二期）（案）の概要について、広島湾再生推進会議座長の川嶋直樹 中国地方整備局 副局長が記者レクを行いますのでお知らせします。

日時：平成29年1月16日（月） 13時30分～14時00分
（13時00分から、受付を通じてご入場いただけます）

場所：広島合同庁舎 2号館 1階 共用第18号会議室
なお、記者レクでの撮影制限はございません。

パブリックコメントの募集

- ◆募 集 期 間： 平成29年1月17日（火）～1月30日（月）
- ◆パブリックコメント募集ホームページアドレス（16日記者レク以降に掲載）
<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/public/>

「広島湾再生推進会議」では、平成19年3月から10年間、広島湾再生行動計画を進めてきましたが、現行計画は平成28年度をもって終了することから、社会情勢など取り巻く状況の変化を踏まえ、新たな計画として、平成29年3月に「広島湾再生行動計画（第二期）」を策定することとしたものです。

問い合わせ先

- 国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231（代表）（平日昼間）
担当）企画部 技術企画官 奥 名 孝 行（内線3126）
企画部 広域計画課長 藤 原 宏 志（内線3211）
企画部 広域計画課長補佐 平 西 邦 裕（内線3212）夜間 511-6132
- 第六管区海上保安本部 TEL (082) 251-5111（代表）
担当）警備救難部環境防災課長 田 中 仁（内線3310）

（広報担当窓口）

- 中国地方整備局 広報広聴対策官 坂 屋 政 之（内線2117）
- 中国地方整備局 企画部 環境調整官 松 本 治 男（内線3114）
- 第六管区海上保安本部広報・地域連携室長 後 藤 慎 治（内線2111）



広島湾再生行動計画(第二期)(案)についての パブリックコメントの募集

「広島湾再生推進会議」では、平成 19 年 3 月から 10 年間、広島湾再生行動計画を進めてきましたが、現行計画は平成 28 年度をもって終了することから、社会情勢など取り巻く状況の変化を踏まえ、新たな計画として、平成 29 年 3 月に「広島湾再生行動計画(第二期)」を策定することとしました。

つきましては、地域の方々をはじめとする多くの方々のご意見をいただくために「広島湾再生プロジェクト」のホームページにおいて、下記の要領で意見を募集します。

○パブリックコメント募集ホームページアドレス

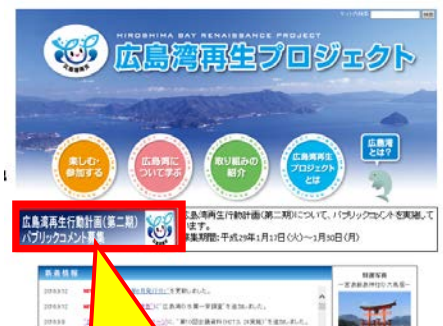
<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/public/>

- ・意見募集期間：平成 29 年 1 月 17 日(火)～1 月 30 日(月)
- ・意見提出方法：上記ホームページに記載
(意見提出様式にご記入の上、電子メール、郵送、FAX のいずれかで送付【1 月 30 日必着】)
- ・問い合わせ先：広島湾再生推進会議 事務局
(中国地方整備局 企画部 広域計画課)
電話：082-511-6120
FAX：082-511-6359

○広島湾再生プロジェクトホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/>

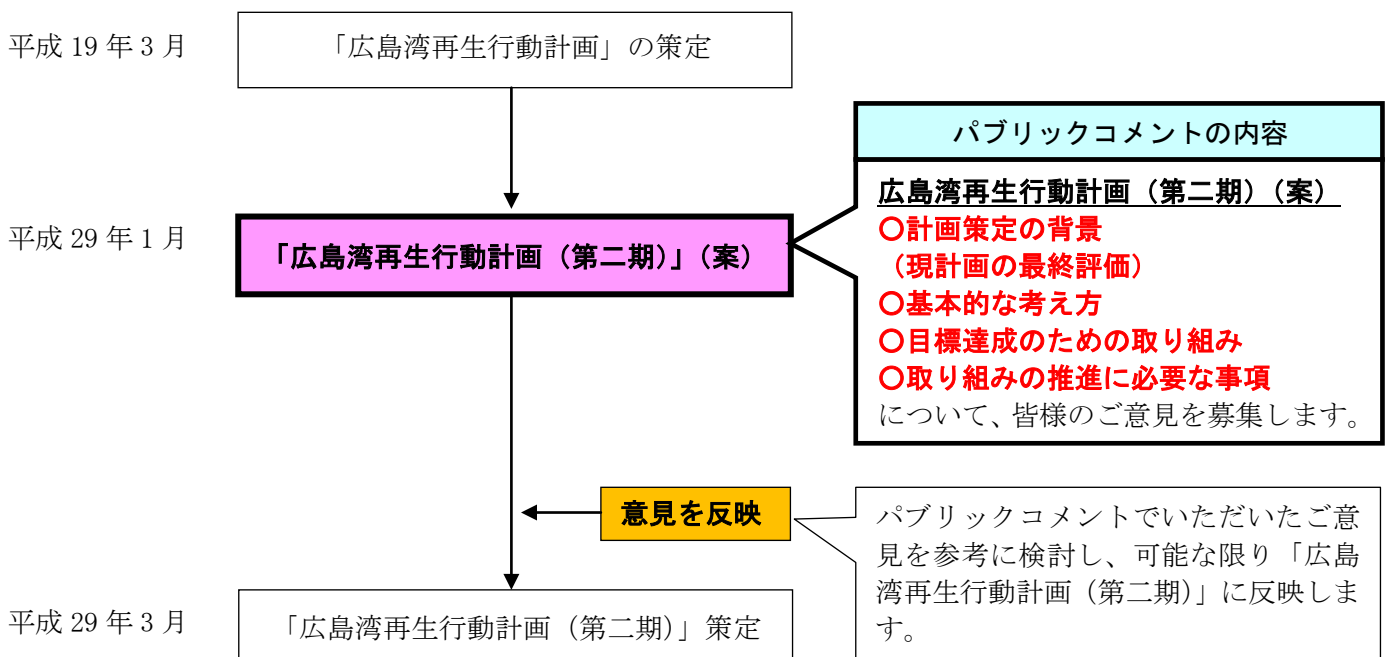
「広島湾再生プロジェクト」 ホームページ



パブリックコメントは、
こちらから募集しています



パブリックコメントの内容について





「広島湾再生推進会議」の概要

「広島湾再生推進会議」は、広島湾の保全・再生を推進するため、関係省庁及び関係地方公共団体が協力して、陸域（流域）と海域（沿岸部を含む）が連携した総合的な広島湾の再生を行うための行動計画を策定し、これを推進する目的で設置しているものです。



「広島湾再生行動計画(第二期)」の背景・目的

H12.12 瀬戸内海環境保全基本計画の改定

・保全型施策に加え、失われた良好な環境を回復させる施策の展開

H16. 6 「国土交通省環境行動計画」の策定

◆「全国海の再生プロジェクト」を推進

・閉鎖性海域の水質を改善するための行動計画の策定、推進を位置付け

H18. 3 広島湾再生推進会議の設置

H19. 3 広島湾再生行動計画の策定

H27. 2 瀬戸内海環境保全基本計画の変更

H27.10 瀬戸内海環境保全特別措置法の一部改正

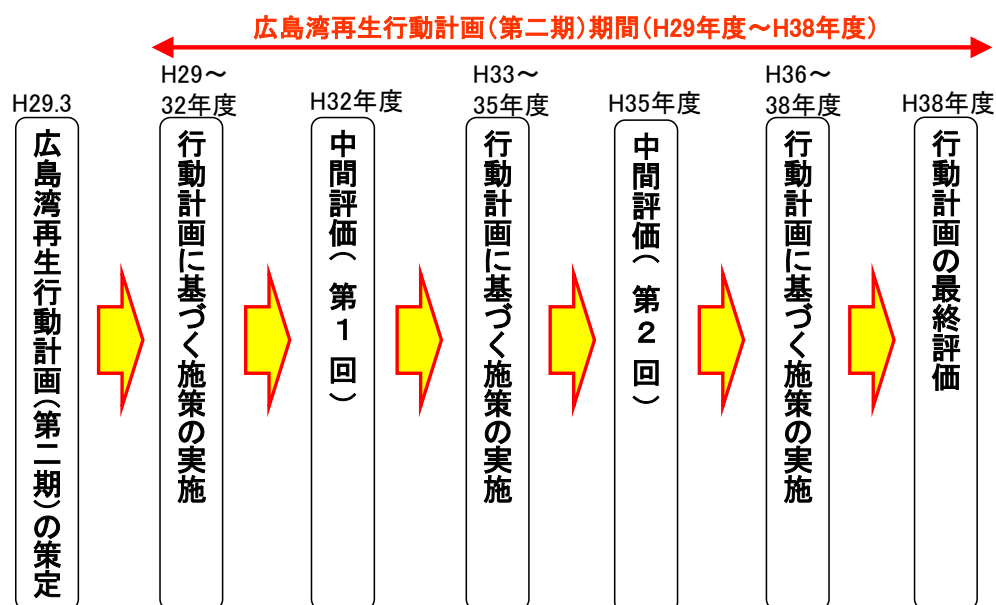
H28. 3 中国ブロックにおける社会資本整備重点計画の策定

H28. 3 中国圏広域地方計画の策定

H29. 3 「広島湾再生行動計画(第二期)」の策定予定



「広島湾再生行動計画(第二期)」のスケジュール



第二期計画のポイント

官民が一体となって活動できる新たなしくみをつくり、多様な生物が生息し、人々が豊かさを実感できる広島湾づくりを目指します。

【将来の広島湾の姿】

- 広島湾奥部で多様な魚介が生息
- 広島湾の魚介ブランドが浸透
- リサイクル材の活用による廃棄物が減少
- 海ごみが減少し、きれいな海洋・海岸景観が実現
- ソーシャルビジネスが普及
- 広島湾域の人々が豊かさを実感



目 標

森・里・川・海の繋がりを活かして、人々が豊かさを享受できる広島湾を実現し、次世代に継承する。

個別目標 1：多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

個別目標 2：人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

個別目標 3：自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

計画期間

平成29年度
～
平成38年度
(10年間)

目標達成のための主な取り組み

個別目標 1

- 森林整備等
- 污水处理対策等
- 貧酸素水塊発生海域の底質改善
- 水産資源の保全・再生
- モニタリング
- 豊かな海のあり方の検討
- 干潟・藻場等の保全・再生



多様な生物が棲む豊かな海

個別目標 2

- 親水空間等の整備
- みなとの賑わいづくり
- クルーズ客船の誘致
- 水の都ひろしまづくり
- 環境教育・普及啓発活動
- 地域住民による自主的な活動促進の仕組みづくりや支援の実施
- 広報の強化等



クルーズ船とみなとの賑わい

個別目標 3

- 海ごみ発生抑制・清掃・回収活動の継続
- 海ごみ対策の強化
- 自然、歴史・文化的資源の保全・活用
- エコツーリズムの推進

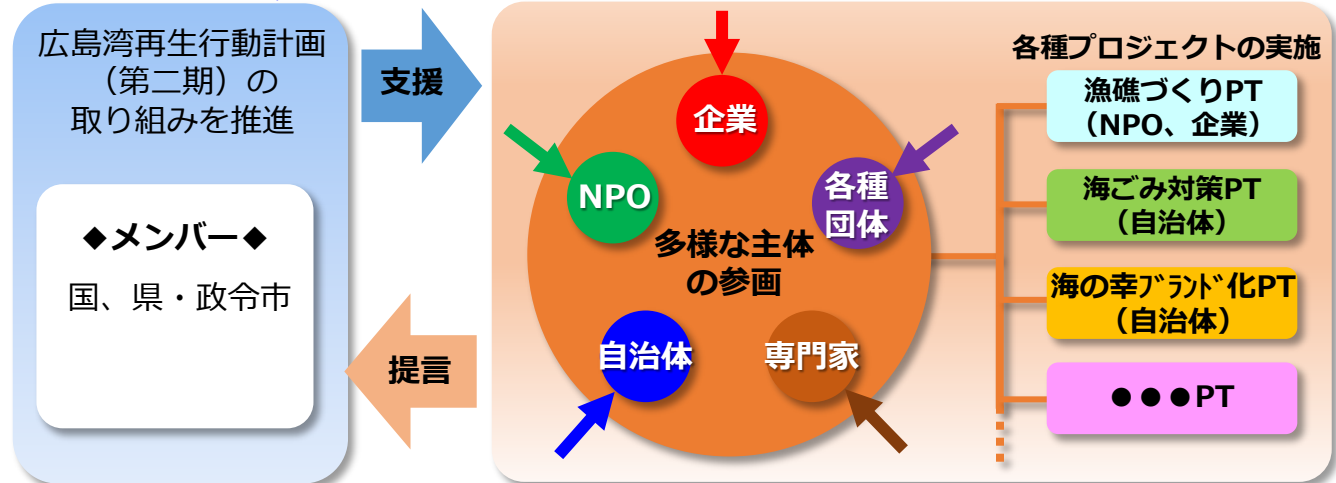


海岸線で行うごみ拾いイベント

官民連携の体制

広島湾再生推進会議

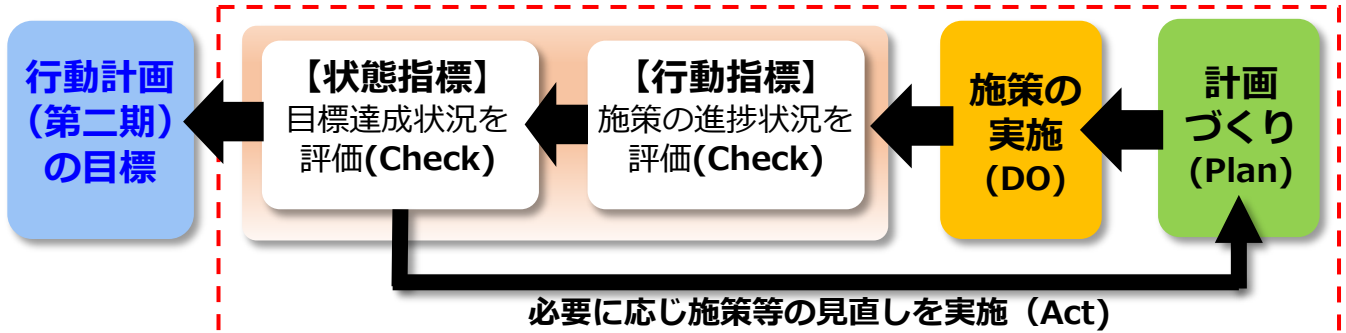
官民連携組織



目標達成状況の評価

- 目標達成状況を、「行動指標」、「状態指標」の2種類の指標で評価。
- PDCAサイクル^注の導入により、必要に応じ、施策等の見直しを実施。

PDCAサイクル



注)PDCAサイクル:事業活動における生産管理や品質管理等の管理業務を円滑に進める手法の一つで、Plan(計画)→Do(実施)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、活動を継続的に改善するマネジメント手法である。

アピールポイント

- 多くの人が訪れ、広島湾や、広島湾につながる森や川について理解が深められる場所をアピールポイントに設定。
- アピールポイントでは、情報発信や地域住民等との参加・協働による取り組みを推進。



No.	アピールポイント	取り組み内容
①	ひろしま遊学の森（広島市森林公園・広島県緑化センター）及び広島湾流域の森林	森林に親しむイベント等の実施、森林ボランティア活動の推進
②	温井ダム周辺	エコツーリズムの推進
③	京橋川、元安川、猿俣川周辺	「水の都ひろしま」づくりの推進
④	広島港	五日市地区人工干潟、クルーズ客船の誘致の推進、宇品・出島地区のみなどの賑わいづくり事業、みなとオアシス広島のパイエリアに親しむイベント等の実施
⑤	厳島周辺	厳島港宮島口地区・胡町地区のみなどの賑わいづくり事業、宮島周辺海岸での海岸清掃活動
⑥	みなとオアシスベイサイドビーチ坂	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑦	呉港	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑧	みなとオアシスえたじま	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑨	岩国港	“クルーズやまぐち”おもてなし向上事業
⑩	みなとオアシスゆう	パイエリアに親しむイベント等の実施
⑪	屋代島周辺	エコツーリズムの推進、パイエリアに親しむイベント等の実施